

続・ふるさと こぼれ話

道標を兼ねた二十六夜塔

月待ち神仏は、特定の月齢に月の出を待つて拝む信仰であり、十九夜・二十三夜塔などは女人講中が造立したものだといれまでに述べた。

今回紹介する二十六夜塔は道標を兼ねた町内唯一の碑塔であり、文化元年(1804)に東水沼の台地に造立され、その後道路改良などにより現在地へ移転されたものと考えられる。現在は道路より高い位置にあり、補足調査の時は草に覆われ、二十六夜塔の「塔」の字の下部は土中に埋もれていた。お参りもない様子で、講中もないのではと思われた(講中などがありお祭りなど行っている

したらお詫びします)。

この塔の左右の側面には、道標として、右どぶちやう宿(道場宿)・うつのみや(宇都宮)、左こてやま(鐮山)・うつのみや(宇都宮)と、刻まれている。碑塔造立の意図は不明であるが、推測するに、やはり女人講中の造立ではないだろうか。板状石に刻み込まれた文字は深く立派で、なんらかの思いを込めて造立したものと考えられる。

町内には、年代不詳のものも含め、たくさんの野仏が造立された。当時は、特に女性たちにとって住みよい



▲二十六夜塔

環境や時代ではなかったと思われることもこれまでに述べた。女性のさまざまな思いを碑塔に込め、自分たち女性や家族、子どもたちの幸せを併せて願ったのではないかと思われる。碑塔は何も言わないが、当時の講中の願いを受け、今も地域の私たちの生活を見守っているのではないだろうか。

第57回

文・写真
大谷津忠一



しまたがしの 芳賀の自然

09



オオゴマダラ チョウ目マダラチョウ科

(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)
撮影地=井頭公園(花ちよう遊館大温室)
分 布=奄美大島以南
生息地=山地から平地の林
時 期=沖縄本島では3~11月
特 徴=さなぎはだるま型で黄金色(金属光沢)で美しい。幼虫は有毒である。成虫は白黒まだらでフワフワと飛ぶ。
食性(幼虫)=キョウチクトウ科のホウライカガミ
大きさ=開張(羽を広げた最大値) 120mm

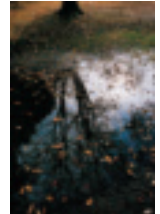
編集後記

□今年も一年が終わろうとしています。新年にはその年の目標を立てますが、今年も達成できませんでした。今ごろになって「目標に向かう過程をきちんと管理できていない」とに問題があったのかも」と反省しています。

□最近自己管理ができる手帳が流行っているようです。この手帳を(きちんと)使うと仕事や時間が管理でき、目標が達成できるのだとか。私も流行に乗って、早速購入してみました。三日坊主の私、きちんと手帳を使えるのでしょうか。

■来年の目標が「目標を達成すること」ではなく「手帳をきちんと使うこと」にならないと良いのですが...

もうすぐ新年、皆さん良いお年を。(サ)



■編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp



④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔